

# オンリーワンスクール新潟未来プロジェクト

高等学校教育課

## はじめに

県教育委員会では、地域と連携した特色ある学校づくりをより一層推進するため、平成27年度から「オンリーワンスクール新潟未来プロジェクト」事業を実施しています。

取組の3つの柱として、「地域の産業と結びついた活動」、「地域と学校の連携強化」、「地域活性の拠点化」を掲げており、これらの取組をとおして「地域産業の担い手確保」や、「地域に貢献する人材の育成」、「生徒の地元定着」などにつなげることを目指します。

## 事業実施校について

平成27年度に18校の県立高校を指定し、さらに平成28年度に3校を追加指定しました。

【平成27年度～平成29年度指定校】

<b>新発田南、新発田農業、新発田商業</b>
「地域活性化プロジェクト 芝TAC」 ○ 商品開発やインターネット販売、野菜工場プラントの製作等の活動を、3校が連携して実施する。 ○ 収穫祭等の地域イベントを企画・運営する。
<b>長岡農業、長岡工業、長岡商業</b>
「緩やかな連携から強い絆へ」 ～長岡CAT第3のステージ～ ○ 長岡市や商工会議所等と連携した商品開発や地元イベントへの出店などにより、起業家意識を醸成する。 ○ 県外の先進的な取組の調査・研究を進め、長岡市や商工会議所の協力により「店舗の常設」を目指す。
<b>栃尾</b>
「地域とともに進める学校づくり」 ～将来の自己実現を目指して～ ○ 地域の人材を活用した取組や体験活動等を実施する。 ○ 世代間交流をとおした学校づくりのため、地域住民と高校生が集う地域コミュ

ニティの場をつくる。

**新潟県央工業、三条商業、加茂農林**

「県央地域に最新未来都市を創造する  
地域活性化プロジェクト」

～NPO法人トライフューチャー

設立を目指して～

- 防災リーフレットや防災に関する標識等を作成し、地域に密着した防災活動を展開する。
- 高校生ガイドによる、県内外の小・中学生を対象とした「教育・学習ツアー」を企画する。

**吉田**

「燕市の明るい未来を担う人材の育成」

- 地元企業でのインターンシップの拡充を図る。
- 地域の人材を活用した特別講義を実施するとともに、市の取り組む事業や行事に参加する。

**小千谷西**

「地域の未来を切り拓く人材育成」

～地元とのコラボレーションによる

「おぢやモデル」の構築～

- 地元企業での職場実習を授業に取り入れた人材育成プログラムを確立する。
- 市と連携して、総合学科の特色をPRするためのイベントを開催する。

**塩沢商工**

「塩沢商工が創造する南魚沼活性化

プロジェクト」

- 建設業をはじめとする地元企業でのインターンシップの拡充を図る。
- 地域行事への参加や、地元の産業・特産品のPR活動を行う。

**十日町総合**

「希望を胸に未来へ羽ばたけ十総生」

～地元企業での就業体験をとおして

地域を支える人材を育成～



- 「十総地域キャリア教育支援協議会」を設置し、インターンシップの充実を図る。
- 地域行事等に参加するなどして高校生の視点で地域活性化のプランを提案する。

**柏崎工業**

**「工業高校の特色を活かしたキャリア教育と防災・減災教育の推進」**

- 地元企業でのインターンシップの拡充を図る。
- 防災活動に参加するなどして、高校生の視点に立った防災モデルを提案する。

**高田農業**

**「地域と連携した商品開発をとおした6次産業化の推進」**

- 地元食材を使った商品を地元企業と共同開発し、「高農」ブランドのPRにより6次産業化を目指す。
- 地域住民を対象とした農業体験教室等を開催する。

**上越総合技術**

**「上越地域から活力を！」  
～地域が生徒を育て生徒が地域を支える～**

- 地元企業と連携した協議会を設置し、インターンシップの拡充を図る。
- 生徒が講師となり、小中学生を対象とした「ものづくり塾」を開催する。

**海 洋**

**「水産・漁業経営を創造する水産専門人材の育成」**

- 地元熟練漁業者の指導により若手漁業者を育成する。
- ハラルの研究や新たなHACCP認定品の開発を行う。

【平成28年度～平成29年度指定校】

**阿賀黎明**

**「あがまち まるかじり」  
～町を元気にするためにいつか帰りたい～**

- 地域行事への参画や、文化祭を地域の行事として位置付けるなど、地域に根ざした学校づくりを推進する。
- 外国人観光客に対する英語ガイドなど、英語を活用した交流活動により町の

魅力の普及を図る。

**正徳館**

**「小規模校のメリットを生かした地域との連携による人づくりの推進」  
～地域の交流拠点としての学校活用と**

**地域の活性化に貢献する若手人材の育成～**

- 学校を地域住民のコミュニティスペースとして位置付けるとともに、「正徳館高校サポーター」として地域の教育力を活用する。
- 地域の課題探究の成果を日本語と英語でまとめ、プレゼンテーション活動をとおして広く発信する。

**佐渡総合**

**「佐渡島活性化プロジェクト SO GOOD」  
～地域を守り、地域を活かし、**

**佐渡から発信する学校を作ります～**

- 模擬株式会社「STACH Island」が中心となり、販売活動を実施するとともに地域活性化を図る。
- 「STACH Island」と企業の連携により、「オリジナル製品」を開発・製造する。

**地域と連携した取組について**

地域や地元企業との連携を進める21校のうち、本号では以下の6校の取組について紹介します。

**1 新発田南高校、新発田農業高校、新発田商業高校**

3校が連携して「芝TAC」の名称で地域活性化に向けた取組を行っています。地域イベントへの参画として、新発田南高校は、イオンモールで自作ロボットの実演や、オリジナルストラップ作成のワークショップを行っています。また、新発田農業高校は、芝農カフェで自分たちが育てた作物を調理してランチとして提供し、新発田商業高校は自ら考案・開発したスイーツを地域で販売しています。

新発田農業高校文化祭の稲穂祭では、農作物、バームクーヘン、ペン立て等、各校の商

品の販売や、芝TACブースによる活動紹介などの活動を3校が協力して行っています。



今年度はさらに農業、工業、商業のそれぞれ【3校連携の販売活動】の得意分野の力を結集し、上級学校や新発田市とも連携しながら、「野菜工場」の製造プラントの開発に挑戦しています。新発田市の新しい魅力につながる取組を実践していきます。

## 2 栃尾高校

事業2年目となる今年度は、地元小学生・保育園児との交流や、地域活性化イベントの実施、地域人材の活用など、地域と密着した体験活動を実施しています。

6月に行われた体育祭では、地元中野俣小学校の児童や善昌寺保育園の園児を招き、競技や伝統芸能の神楽の



【合同体育祭】

披露を合同で行いました。また、中野俣小学校にあるカワセミの池の環境保護活動にも参加し、地域の伝統文化や自然を再発見する取組となりました。

新たな地域活性化イベントについては、生徒自身が来場者のターゲットや企画内容、予算までを検討し、栃尾文化センターで実施しました。昨年度の地域探訪で得た知識を活用した栃尾クイズや、地元の織物を利用した工作教室、書道部によるパフォーマンスなど、生徒が身に付けた知識や技術を用いた企画に取り組みました。

この後は、油揚げ製造や染色方法等を体験する「地域探訪」を実施します。生徒は町歩きをした後、観光名所等のスタンプを作成し、来年度の「地域紹介マップ作成」につなげます。

## 3 十日町総合高校

インターンシップの充実等、地域キャリア教育の推進を図るため、「地域キャリア教育支援協議会」を設置し、家庭、地域、産業界が一体となった取組を行っています。

1年生全員を対象として経営者から直接指導を受ける企業見学を行い、2年生では全員がインターンシップに参加するなど、地域産



【食品会社での就労体験】業の理解を深める取組を充実させています。

また、高校生の視点から地域活性化のための方策を検討する地域イベント「高校生まちなかプロジェクト」に参加したり、地元企業が開催するイベントの企画・運営に協力したりするなど、地域を支える人材の育成を進めています。

## 4 上越総合技術高校

工業科専門高校として地域に貢献できる人材の育成を目指し、地域と連携したキャリア教育を推進するため、インターンシップ・デュアルシステム推進会議を設置しました。地元企業や自治体との連携を強めながら、インターンシップ等の拡充を図っています。

また、広く産業を理解し、学んだ技術を生かした職業選択につなげる新たな取組として、海洋高校の実習船における機関整備実習を行いました。

さらに「課題研究」や「実習」での学びを深めるため、地元企業の熟練技能者や教育機関の専門家から指導を受けており、技能士や国家資格に挑戦する意識の向上につながっています。

そして、身に付けた技術を地域に還元する機会として「ものづくり塾」を開催しました。



生徒が講師役となって、【ものづくり塾】小・中学生にランプシェード制作の指導をするなど、地域との交流を深めています。

## おわりに

実施校の21校それぞれが、地域密着型の特色ある取組を実践しています。詳しくは高等学校教育課のWebページを御覧ください。

<http://www.pref.niigata.lg.jp/kotogakko/>